

山口大学医学部

霜仁会会報



第307号

令和7年1月発行

発行人 福田進太郎

霜仁会事務局 山口県宇部市南小串1丁目2-11

霜仁会医学交流会館3階

TEL:0836-22-2029

FAX:0836-31-7586

E-mail:jimu@soujinkai.jp

HP:http://soujinkai.jp/

印刷所 瞬報社オフリン印刷(株)

新年のご挨拶

霜仁会会長

福田進太郎



霜仁会の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって良い年であるよう心からお祈り致します。昨年を振り返りますと元旦の能登半島沖地震災害に始まり、その後9月21日には再び同地域を観測史上最大の豪雨災害が襲いました。地域の再建はまだまだ道半ばですが、二重の苦しみを味わった被災者の方々の生活復旧、地域の復興が1日も早く官民の協力のもとに実行されなければなりません。また他の地域でも豪雨災害が頻発するようになり、史上最高温の猛暑とともに気候温暖化の影響が無視できないレベルにまで生活環境に及んできたことを皆が実感した1年となりました。「国土強韌化」の言葉とその必要性が国民全体に浸透した1年で

もあつたと思います。しかし東海・南海トラフ地震の規模を考えるまでもなく完全な防災は不可能であり、被害を最小に食い止める避難・減災の事前準備が必要です。自然災害をいつでも起こりうる「自分ごと」として捉える心構えを皆で持ち合うようにしたいものです。COVID-19の感染数、臨床症状が変動はあれ、ある程度落ち着いてきており、過去の救急医療従事者の筆舌に尽くしがたい努力が報われてきていると思えますが、インフルエンザの地域的流行は例年通りですし、高病原性鳥インフルエンザの社会的影響も毎年のように報じられています。ワクチンの供給が海外からの輸入に頼っている現状を変えるために、今後変異型ウイルスに対する国産ワクチンの速やかな開発・量産体制の確立が必須です。医師会を中心に政府・行政への働きかけを続けることが今後必要と思われれます。政治の世界では10月の衆

議院選挙で自民・公明与党が惨敗を喫して過半数割れとなり不安定な国政状況となりましたが、国会で様々な意見が議論されぶつかり合い最終的な政策に収斂されていく流れは決して悪いことばかりではないと思います。自民党・公明党の与党絶対多数時代が長く続き党内部会の重鎮で「インナー」と呼ばれる少数の専門家の意見が反映される時代が長く続いているうちに、国民の意識との距離が広がり民の声に耳を傾け意見を吸い上げる機能が劣化したことは否めない事実でしょう。今後の日本のためにより良い意見集約と国政が機能することを願い、かつ信じています。米国ではトランプ大統領が就任し世界情勢も大きく動くことになりました。自国民の生活や国益をして最優先守ることは為政者としては当然のことですが、現代において一國だけで政治・経済・国民生活を完結させることは不可能です。国内・国外に断絶と対立の壁を築くことは必ず将来に大きな禍根を残すこととなります。幸い我が国には国民の意識の中に謙讓、思いやり、助け合いの精神が長い時間をかけて育

まれてきた精神的風土があります。異論と向き合い、異端視せず真摯な話し合いの後の合意形成に向けた努力を選良の方々のみならず私達一人一人がしなければなりません。医療の世界においても個人の権利の尊重、個人情報保護の尊重、意識はますます高くなり研究・臨床の場でも充分な配慮のもとに医療行為を行うことが要求されるようになりました。日々変動していく世情の中でも、皆様の努力で多くの患者様が救われてきた精神的風土があります。2026年3月には山口市瑠璃光寺五重塔の大修理も完工予定です。お時問のある時に美しい五重塔が池に映る庭園やと懐かしいキャンパスを訪れていただければありがたいと思います。

最後になりましたが本部署員一同今年も同窓会員の皆様のために精一杯努力してまいりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

* 2025年 *

霜仁会總會のお知らせ

日時：2025年5月11日（日）

総会 13時30分より

場所：国際ホテル宇部 本館3階

山口県宇部市島1-7-1

TEL (0836) 32-2323

理事會報告

第5回理事会

令和6年9月20日(金) 19時より医学交流会館3階会議室において、26名の出席のもと開催された。

第6回理事会

令和6年10月18日(金) 19時より医学交流会館3階会議室において、22名の出席のもと開催された。

第7回理事会

令和6年11月15日(金) 19時から霜仁会医学交流会館3階会議室において、23名の参加のもと開催された。

新及び改修費の助成を了承した。

金制度規約の一部改正について、了承された。

霜仁会賞規約等について、了承され、令和7年度総会に諮ることとした。

山口支部会(福田) 6.11月9日(土) 大阪支部会(福田)

【審議事項】

1. 医学交流会館駐車区画線工事を実施することが了承された。

は、山口県医師修学資金貸与学生に対するサポートの一環として実施し、学生が県知事・県民の皆様へ将来山口県の地域医療へ貢献するとうい決意を表明し、山口県内の医療施設の見学により地域医療の現場を学び、地域医療マインドを醸成することを目的としています。今年度は美祢市立病院様にご協力いただき地域医療見学実習を実施しました。

【報告事項】

1. 10月6日(日) 「運動器の10年・骨と関節の日」記念行事(小野)

秋の叙勲受章者

旭日双光章 受章 平井賢治先生(昭50年卒)

高年齢叙勲受章者

瑞宝双光章 受章 土江 仁先生(昭39年卒)

ご受章、誠にありがとうございます。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

学内報告

「第7回 県知事激励会・夏休み地域医療見学実習Eやまぐち」開催のご報告

山口大学医学部附属病院 医療人育成センター

宮崎 睦子

令和6年9月4日、山口大学医学部医学科1年の山励会および地域医療見学実習を行いました。本企画

山口県知事激励会においては、田邊医学部長、松永院長の挨拶の後、医学科1年の藤村圭祐さんと高木鈴世さんが、県民の皆様からの支援に対する謝辞と魅力ある山口県の地域医療に貢献したいという思いを込めた決意表明を行いました。その後村岡知事から学生一人ひとりへ温かい声かけや激励の言葉を頂きました。今年度はメディア取材が多く、たくさんの方のカメラに囲まれた学生は初め緊張した面持ちでしたが、知事からの想定外の質問とそれに対する学生の回答に会場が沸き、次第に学生も打ち解けて明るい表情で積極的に発言するようになりました。多くのの方が夕方の地域

(写真は次ページ上段に掲載)

3. 医学祭へ予算不足分を追加助成することが了承された。

1. 7月19日(金) 編集委員会 (奥屋)

2. 7月19日(金) 霜仁会賞運営委員会 (山本)

3. 7月20日(土) 山陰支部総会 (福田)

4. 8月4日(日) 関連病院長協議会総会・臨床教授との意見交換会 (城戸)

5. 8月24日(土) 福岡支部総会 (福田)

6. その他

・故上田尚紀先生(昭和41年卒)のご遺族から寄附があった。

【審議事項】

1. ラベルシールの医学部への提供について、医学部から卒業生へ郵送するためラベルシールの提供依頼があり、承認した。

令和6年度慰霊祭

【審議事項】

1. 霜仁会及び検査センターの中間決算報告が行われ、了承された。

2. 霜仁会国際留学生奨学

1. 霜仁会及び検査センター



山口県臨床整形外科医会 市民講座

令和6年度「運動器の健康・ 骨と関節の日」記念行事

日本整形外科学会では10月8日を「運動器の健康・骨と関節の日」と定めています。日本臨床整形外科医会は運動器の健康・ロコモティブシンドロームの啓発のために全国各地で様々な催しを行っており、山口県では平成15年から始まり今年で19回目の記念行事を行いました。

令和6年度の「運動器の健康・骨と関節の日」記念行事は、山口・防府地区担当で令和6年10月6日に山口市の山口県健康づくりセンターで開催され、122名の市民が来場されました。山口県臨床整形外科医会（以下YCOA）からは、山口・防府地区会員11名を中心に計23名が参加しました。

13時10分からの健康フェアではビデオ放映（いきいき百歳体操、日整会百年プロジェクト）、質問コーナーが行われました。いきいき百歳体操では座ったままできる体操を中心に来場者



全員で一緒に体を動かしてもらいました。また質問コーナーでは山口・防府地区のYCOA会員が事前に集められた質問に丁寧に分かりやすく答えました。

13時50分からはYCOA小野会長の挨拶から市民公開講座が始まりました。ミニレクチャーでは小郡第一総合病院 整形外科主任部長 米村浩先生による「腰の病気―その診断と治療―」の演題で講演が行われました。

有訴者率第1位の症状は腰痛であり特異的と非特異的に分類され、特異的腰痛についてはセルフチェックの方法を、非特異的腰痛の治療については運動療法（3秒これだけ体操など）や心理的アプローチが重要であること、また痛みが慢性化する原因についてもお話し頂きました。

特別講演は山口大学医学系研究科整形外科学教授の坂井孝司先生の「知っちゃってる？ロコモティブシンドローム」の演題で講演が行われました。ロコモティブシンドロームの進行により要介護のリスクが高くなることや原因疾患として関節症などの運動器疾患の治療、ロコモを予防するためにロコモチェックやロコトレ、骨粗鬆症とそれに起因する骨折の予防と治療が重要であるとわかりやすく丁寧に話し頂きました。

最後は中村整形外科の中村克巳先生の閉会の挨拶で行事を終了しました。

令和7年度は下関地区担当で開催予定です。

この記念行事には、毎年霜仁会より多大な助成をいただき感謝しております。山口県臨床整形外科医会では今後も運動器の健康を守るために尽力してまいりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

（山口県臨床整形外科医会 骨と関節の日 担当理事 森脇伸二郎）

令和6年度

山口大学医学会 小西賞

「Importance of optimal rewiring guided by 3-dimensional optical frequency domain imaging during double-kissing culotte stenting demonstrated through a novel bench model」

山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学



岡村 隆之 (平5年卒)

このたびは荣誉ある令和6年度山口大学医学会小西賞を賜り、大変光栄に存じます。選考委員の先生方をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私は平成5年に山口大学を卒業し、第二内科に入学しました。学位取得後、循環器内科医としてカテーテル治療(PCI)に従事し、心筋梗塞をはじめとする冠動脈疾患の予後改善に取り組んでまいりました。2008年から2010年までオランダのエラスムス大学胸病センターに留学し、Patrick Serruys教授の指導のもと、光干渉断層法(OCT)を用いた研究を

行い、本研究の基礎を築きました。

虚血性心疾患における左冠動脈主幹部病変の多くは左前下行枝と回旋枝の分岐部に存在し、この部位の治療は難易度が高く、治療成績は難易度が長く、治療成績向上が長年の課題となっています。分岐部病変に対する2ーステント治療(Double-Kissing Culotte法)では、従来の体外実験では有効性が示唆されていたものの、臨床試験ではその効果が証明されていません。本研究では、早稲田大学の岩崎清隆教授と心拍動を再現するモデルを開発し、実際に臨床に近い環境で2ーステント治療における最適な条件を検討しました。結果として、血管造影のみでは2ーステント治療の精度に限

界があることが分かり、OCTガイドが不可欠であることが判明しました。また、使用するステントの性能も治療結果に大きく影響することが明らかになりました。本研究がOCTガイドの有無で2ーステント治療を行った際、OCTガイドを用いることでステントの拡張がより良好に行われることがMRIによって確認されました(Scientific Reports 2023)。この研究成果に基づき、最終的にはOCTガイド下での2ーステント治療の有効性を証明する前向き臨床試験を計画しています。これにより、特に左冠動脈主幹部病変の治療成績向上に貢献できることを期待しています。

最後にありますが、研究に際してご支援いただいた器官病態内科学の先生方、カテーテルスタッフの皆様、そして器官病態内科学講座 佐野元昭教授をはじめご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

私は平成25年に山口大学を卒業し、器官病態外科学講座(第一外科)に入学しました。入局後は外科医としての修練を積み、令和3年4月に山口大学大学院医学系研究科に入学、濱野公一先生のご指導を賜り、細胞シート移植治療をテーマとした研究に取り組みしました。当科では、様々な手法でVEGF、HGF等の分泌能を強化し、創傷治癒を促進する積層線維芽細胞シート

令和6年度

山口大学医学会 中村賞

「Dry preserved multilayered fibroblast cell sheets are a new manageable tool for regenerative medicine to promote wound healing」

徳山中央病院 心臓血管外科



松野 祐太郎 (平25年卒)

この度は、荣誉ある令和6年度山口大学医学会中村賞を賜り、大変光栄に存じます。山口大学医学会選考委員の先生方をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

この開発を行っています。令和2年に難治性皮膚潰瘍に対する培養ヒト自己細胞混合シートを用いた移植治療に関する臨床試験(第I相試験)を実施し、創傷治癒促進効果と安全性を実証しました。自家細胞を用いた細胞シート移植治療は理想的な治療法ですが、本臨床試験において患者自身の細胞の機能低下により細胞シートが作製できず、治療機会を逃す可能性が判明しました。そのため、本治療法の臨床応用には、高品質かつ安定供給可能な他家細胞から作製した細胞シートが最善のアプローチと考えられ、細胞シートの保存法が重要な課題となります。本論文は、線維芽細胞シートの乾燥保存の可能性を検証した研究です。風乾さ

せた積層線維芽細胞シート(Dry sheet)のマウスでの検討から、他家細胞で作製したDry sheetは創傷治癒促進効果を有することが明らかとなり、細胞シートの乾燥保存の可能性が示唆されました。作用機序の検討から、Dry sheetは細胞膜が損傷した死細胞ですが、細胞内に成長因子を保持し、再水和によって成長因子が放出されることを見出しました。Dry sheetにVEGF、HGFに加え、生きた細胞シートからは分泌されない強力な組織修復因子FGF2を放出し、創周囲の細胞に作用して創傷治癒を促進することを明らかにしました。また、Dry sheetは冷蔵保存で、少なくとも1カ月間はFGF2を安定して保持し、長期保存可能な創傷被覆材としての有用性が示されます。今後はヒト線維芽細胞シートでの乾燥保存の検証が求められます。

最後になりましたが、研究、論文執筆のご指導を賜りました濱野公一先生、柳原正志先生、そして研究にご協力いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

教室紹介

産科婦人科学講座

当講座は、1947年に吉良貞敏先生が初代教授として開講し、1955年から藤生太郎先生、1971年から鳥越正先生、1988年から加藤絃先生、2003年からは杉野法広先生が主宰されており、本年2024年は開講77年を迎えます。

臨床分野では、婦人科腫瘍、生殖内分泌・不妊症、周産期医療の3つを軸として、最先端の医療を提供しています。婦人科悪性腫瘍に対しては、手術療法、化学療法、放射線療法を適切に組み合わせた集学的治療を提供しています。早期子宮体癌に対しては、腹腔鏡下あるいはロボット支援下手術といった低侵襲手術を推進しています。進行卵巣癌に対しては、dose-denseパクリタキセル・カルボプラチン化学療法を第一選択として用いることで他施設と比べて良好な予後を達成しています。また遺伝子検査を行い適切な分子標的薬を選択する個別化治療を行

唯一の本治療の実施施設であり、新生児予後を著しく改善させています。山口県はもろろんのこと、中国四国地方をカバーした周産期医療に取り組んでいます。研究に関しては、卵胞発育、排卵から黄体形成といった卵巣機能、着床に関する子宮内膜の機能など、生殖過程を包括すべく基礎研究を中心に行っています。特に、杉野が教授に就任してからは、ゲノムワイドな視点からの分子生物学的研究を進めており、RNAシークエン্স法やChIPシークエン্স法を用いた全ゲノム解析を行っています。さらに、ポスト・ゲノム時代における研究分野として注目されているエピジェネティクスの研究にも取り組んできました。これにより、遺伝子発現調節の鍵となる転写因子や新規エンハンサー領域を同定し、着床期における子宮内膜や卵巣の遺伝子発現変化におけるエピジェネティクス調節機構を世界に先駆けて解明しました。また、新規の子宮内膜オルガノイドの作成に成功し、胚との共培養による可視化着床モデルを確立しました。これらの成果は着床不全や黄体機能不全などの

不妊症の原因解明に役立っています。一方で、女性ホルモン依存性疾患である子宮筋腫や子宮内膜症の病態解明にも取り組む、両疾患ともDNAメチル化異常がゲノムワイドに生じていることを明らかにしたほか、バイオインフォマティクスや数理モデルを駆使して、疾患発症に関わるマスター遺伝子を同定し、両疾患をエピソード異常疾患と位置付けました。婦人科腫瘍分野では、先代教授である加藤絃先生が発見された扁平上皮癌の腫瘍マーカーであるSCCを中心とした研究を継続的に行っています。SCC抗原と結合する物質としてcarbonyl reductase1を同定し、このタンパクを標的とした子宮頸癌や子宮体癌に対する分子標的治療法の開発に力を注いでいます。周産期分野では、近年注目されている人工知能(AI)技術を活用し、妊婦検診データを用いた妊娠高血圧症候群発症予測モデルを確立しました。これらの研究は、大学内のみならず国内外の多くの研究室と積極的に共同研究を行っており、常時1~2名の教室員が留学しています。医師の地域偏在が社会問

題となつていきます。産婦人科においても、医師数は都会では充足していますが、地方ではいまだ十分とは言えず、多くの大学で研究に力を注ぐことが難しい状況になっていきます。幸いにも当科には、毎年3~4名のやる気のみなざる若い医師が入局してくれています。今後臨床では高度医療の提供を、研究では高いレベルの基礎研究を継続し、医学の進歩、医療の発展に寄与し、そしてすばらしい産婦人科医師を育てることができる講座にしていきたいと思っております。霜仁会の諸先生方には引き続きご指導、ご鞭撻のほど卒直しくお願い申し上げます。(田村 功)



病院紹介

光市立光総合病院



院長 竹中智昭 先生
あき なか とも とも



霜仁会会員の先生方にはいつも大変お世話になっております。この度は霜仁会会報に当院紹介の機会を頂き、誠にありがとうございます。

当院の開設は昭和26年10月で、一般病床20床+結核病床64床でした。時代の推移とともに一般病床の増床や結核病床の転換をすすめ、平成6年に一般病床210床になりました。平成16年に光市と大和町合併により、病院名を現在の光市立光総合病院に改めました。開設当初より、虹ヶ浜

診療科は16科、常勤医師は16名です。常勤医師の確保が難しい中、山口大学附属病院の先生方の多大なるご支援を頂き、大変感謝申し上げます。令和5年度平均外来患者数は285・3人、入院患者は1日平均130・2人でした。

先般のコロナ禍では、COVID-19対応と通常の医療の維持を目標に掲げ、職員一同団結して取り組みました。感染対策担当内科医をスーパーバイザーとし、有志が主治医となりCOVID-19患者さんの入院体制を作りました。それぞれの医

師がCOVID-19対応に前向きに協力してくれたおかげで、通常医療は何とか維持でき地域の皆様にご迷惑をかけることもなかったと思います。入院医療以外でも発熱外来やワクチン接種、高齢者や障害者施設への感染対策指導など、当院の人材や医療資源を駆使し、しっかりと地域への貢献ができたのではないかと思います。また、私自身も山口県のクラスター対策に参画し、県の担当者や保健所の職員の皆様の献身的な活動を拝見するという大変貴重な経験をさせて頂きました。保健所の皆様は想像を絶するほどの忙しな様子もかわらず真摯に対応され、その姿勢に感動するとともに互いに支え合う大切さを学んだことは、地域の医療を考える上で大きなインパクトとなりました。また、COVID-19対応を機会に多くの方々と新たなつながりを作る事ができ、そのおかげで当院は地域を支えるという責任をはたすことができていますと再認識いたしました。新興感染症が再び蔓延しないことを願っています。しかし、禍も考えようによれば良い学びの機会となりました。

最後に私たち幹部職員が大切にしている事を紹介して終わりたいと思います。月並みかもしれませんが、病院を働きたいのある職場にすることです。2019年より医療安全活動をSafety-I（失敗から学ぶ）からSafety-II（成功していることから学ぶ）中心に軸足を移しました。Safety-IIを病院内に浸透させていくうちに、より多くの成功を

生むためには、医師を頂点とするヒエラルキー型の組織ではなく、各職種がフラットな関係でチームメンバーとして活動できる事が重要であることに気づきました。チーム医療のあるべき姿の追求、特に心理的安全性の重要性を念頭に現場の雰囲気を変えていくことが重要だと思っています。このためには、医師以外の職員が医師の指示がなければ動けないと言うことでは困ります。治療の方針を理解し、患者さんのために向かうべき方向をしっかりと認識し、それに向かって自律的に考え、行動できることがとても重要だと思えます。これは職員にとっても働きがいのある病院を作るだけでなく、医師の働き方改革やタスクシェアにも貢献するものですし、山口大学附属病院から支援に来てくださる先生方にとっても働きやすい環境を提供できるものと思っています。

当院の理念は「私たちは、良質で安全で心温まる医療を提供し、地域の皆様に信頼される病院づくりに努めます。」というものです。地域医療への貢献を謳っており、近隣の病院との連携は非常に重要と考えております。地域医療構想は刷新され、自治体病院の経営強化も求められるなか、当院は地域の住民に信頼され続ける病院でなければなりません。当院としては可能な範囲で光市近隣住民の急性期医療を担いつつ、当院では対応できない患者さんは高次病院にお願いし、高次の治療が終了した患者さんを引き受け、地域に戻していくことが肝要と考えております。今後も地域の連携を進めてまいりたいと思います。

霜仁会会員の皆様にはこれからも引き続き、ご指導・ご支援を賜りますようお願い、どうぞよろしく申し上げます。

印刷を企画から在庫管理・発送まで

一括サポート!

まずはお気軽にご相談ください。

瞬報社オフリン印刷株式会社

[本社] 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2410番地
TEL 083-972-5678 FAX 083-973-1912
[営業所] 広島・下関物流センター

医書のことなら全てお任せ下さい。

- 常時 10,000点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピーディー宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《日本医書出版協会認定》
《医学・看護学専門書店》

井上書店

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3番1号
TEL (0836) 34-3424 FAX 34-3090
e-mail : ube @ mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20
TEL (093) 533-5005 FAX 533-9789
e-mail : kokura @ mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]
<http://www.mm-inoue.co.jp>

TEIJIN

Quality of Life

患者さんの健やかな笑顔のために。

一人でも多くの方が
生きることを前向きにとらえ、
しあわせを感じられるように。

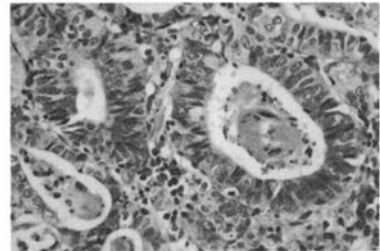
帝人ファーマ株式会社
<https://www.teijin-pharma.co.jp/>

PAD018-TB-2006

病理組織・細胞診検査 動物実験研究用病理標本作製

(詳細は検査案内参照)

- * 地域に貢献し、共に発展
- * 素早い対応、迅速、正確
- * 責任がもてる標本作り
- * 標本が教科書



一組織、細胞診検査の
集配業務行っております。ご利用の程をー

(社) 霜仁会検査センター

〒755-0046
宇部市南小串1丁目2-11
霜仁会医学交流会館2F
TEL : 0836-31-7510 FAX : 0836-31-7590

ご結婚・ご宿泊・会議・会食に

国際ホテル宇部

☎0120-375931

山口県宇部市島1丁目7-1
<http://www.kokusaihotel-ube.co.jp>

医療関連事業
疾病の診断から治療までを担う

ニュートラシューティカルズ関連事業
日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

<https://www.otsuka.co.jp/>



山口大学医学部霜仁会の 会員総合補償制度

団体割引*が適用されるため、
保険料が**割安**です!!



*団体割引は毎年変動する可能性があります。
本チラシに記載の団体割引は、2024年4月1日～2025年4月1日までに
保険始期のあるご契約に適用されます。

中途加入受付中! 中途加入の場合、毎月20日までにお申込みいただくと
翌月の1日が補償の開始日となります。

産業医等活動保険にもご加入できます!
(勤務医師賠償責任保険任意オプション)

地震や日常生活による**ケガ**
携行品 賠償責任を補償

団体割引 **5%**

傷害補償

- ◆国内外、24時間、事故によるケガを補償します。
(地震・噴火 これらによる津波によるケガも補償します。)
- ◆ケガ以外にも携行品の損壊など、様々なリスクを補償します。
- ◆年齢にかかわらず保険料は一律です。

会員総合補償制度の
おかげで安心して
医療に従事できます

万一の医療事故を補償

医師賠償責任保険
(勤務医向け)

団体割引 **20%**

働けなくなった時の**収入**を補償

団体割引 **10%**

所得補償

- ◆病気やケガで就業不能となった場合に、
先生方の所得を補償します。
- ◆入院はもちろん、自宅療養もカバーできます。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

所得補償、団体長期障害所得補償
どちらも加入することをおすすめします。

万一の**がん**・**病気**・**ケガ**を補償

団体割引 **10%**

がん補償

- ◆がんと診断確定されたとき、診断保険金が支払われます。
- ◆入院保険金は1日目から何日でも補償されます。
- ◆手術保険金は何回でも補償されます。(手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払の対象とならない場合があります)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

医療補償

- ◆病気だけでなくケガによる入院も補償されます。
- ◆入院保険金は入院1日目から補償されます。(限度日数あり)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。



長期間働けなくなった時の**収入**を補償

団体割引 **10%**

団体長期障害所得補償

- ◆病気やケガで就業障害となった場合に、先生方の所得を補償します。
- ◆長期にわたり(最長5年)生活費をお届けします。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

突然**介護**が必要になった時に
保険金をお支払

団体割引 **10%**

介護補償

- ◆公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
- ◆東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)と診断され
その状態が90日を超えて継続した場合
いずれかの場合、保険金(一時金)をお支払します。

詳細はパンフレットをご覧ください。この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体生活総合保険の概要についてご紹介したものです。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款および協定書によります。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。尚、ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

申込書類・資料のご請求やお問い合わせはお電話もしくはメールで下記取扱代理店までお願い致します。

お問合せ先・取扱代理店

株式会社パイオニア (平日)午前9時～午後5時
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-16 小泉第2ビル3階
TEL: 0120-010-938 FAX: 0120-921-051
http://www.pioneerltd.com yamada@pioneerltd.com

引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社
(担当部) 医療・福祉法人部 東京都千代田区三番町6-4 〒102-8014
TEL: 03-3515-4143 www.tokiomarine-nichido.co.jp
募集文書番号: 2024年2月作成 23TC-008254

いついかなる時も、いちばんそばに。

To Be a Good Company



東京海上日動

ニューフェイス

初期研修を振り返って

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

能美翔

私は島根大学を卒業後、地元である山口県に戻り、山口労災病院で初期研修を行いました。研修医の人数は多くなく、ローテーションは基本的に各診療科を1人で回するため、指導医との距離が近く、手厚いマンツーマン指導を受けることができました。

ローテーションでは慣れ始めた時に次の診療科に進み、毎回最初は覚えることが多いが大変ですが、病棟管理や初期対応などの基礎が身についてくるにつれて、徐々に新しい知識も吸収しやすくなったように感じました。2年目には地方会で発表する機会もあり、1つの症例を深く考えることで理解が深まって、別の症例にも活かせることを体感しました。

私は今年度から山口大学附属病院の精神科に入室しております。精神科では、どんな高齢の患者でも生い立ちから辿っていき、1人



左から2番目が能美です

<https://yamaguchih.joh.as.go.jp>

研修を振り返って

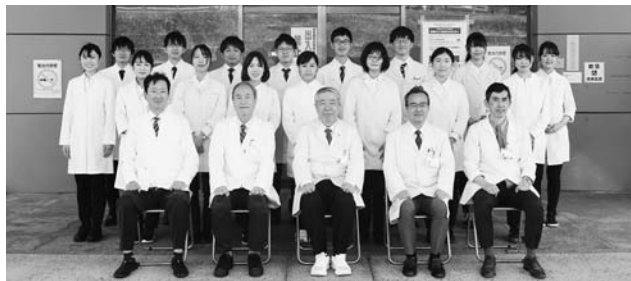
山口大学医学部附属病院 放射線治療科

中部千夏

私は山口大学を卒業後、山口県立総合医療センターで初期研修をさせていただきました。2年間様々な科を回らせていただきましたが、どの科でも多くの学びがあり、手技を任せていただく機会も豊富でした。難症例を担当することもあり、指導医の先生方やご家族と協議しながら、正解のない中で最適解を模索したことも昨日のこのように覚えていきます。

また、同期や先輩・後輩にも恵まれました。穏やかで勉強熱心な人が多く、良い刺激になりました。研修生活の中では時に大変な時期もありましたが、お互いに助け励ましあい、皆が医師として確実に成長できていたと思います。

4月からは山口大学医学部附属病院の放射線治療科で勤務しております。がん治療の一つの柱の担い手として、日々少しずつ成長できていると感じております。学ぶべきことは多



中央右から3番目が中部となります。

<http://www.ymg.jp>

ジエネシス

最高の医学祭

医学祭実行委員長

医学科 四年 北島正和



4日の前夜祭では1年生によるダンスコンテストが行われました。多くの1年生に参加いただき医学祭を楽しんでいただけたと同時に医学祭へ関心を持っていただくことができました。

第79回医学祭は10月4日から6日まで3日間にわたって開催されました。本年度の医学祭は学生・卒業生・関係者の皆様はもちろんのこと、地域の皆様、子供達をも巻き込んで、多くの方々と共に作り上げていく医学祭を目指し「医祭合祭〜みんなの力を分けてく〜」とさせていただきます。また本年度も医学祭は医学会との合同開催とさせていただきます。一から学祭を作り上げることが初めてで多くの困難がありました。しかし、皆さんの力添え、ご指導いただきました皆様誠にありがとうございました。また医学祭にご支援いただきました皆様、誠にありがとうございました。

医学祭はステージ企画のみでなくドクターヘリの展示会や学生による研究発表、各部活動の展示も行っております。ドクターヘリの展示や心肺蘇生法講座などを通して地域の皆様、子どもたちに医学に触れ合う場を提供することができました。また研究発表、部活動の展示でも日頃の活動の成果をお見せすることができたと思います。

最後に、伝統ある山口大

山口大学医学部の 伝統を引き継いで

副実行委員長

医学科 四年 佐藤史弥



今年度の医学祭副実行委員長を務めさせていただきました、佐藤史弥です。この度は山口大学医学祭にご来場いただきまして誠にありがとうございました。本年度の医学祭は私たちにとって3度目の医学祭でした。一昨年度はコロナ明け初の医学祭で成功を収め、



を引き継ぎつつ自分たちの色に乗せてさらにより良い医学祭となることを期待しています。また、当日ご来場していただいた地域の皆様や学生方にも感謝いたします。来年度以降にもお越しいただけると幸いです。

れた戸坂を初め、信頼できる同期たちや仕事の支えの下、医学祭の準備時間はあっという間に過ぎてしまっただけで充実していました。また、昨年度医学祭幹部の足立さんや草野さんをはじめ多くの先輩方には様々なところで力を貸していただきました。非常に感謝しています。医学祭を通して新たにできたつながりを今後大切にして行きたいと思っております。来年度の医学祭は頼れる先輩たちが軸となり医学祭を作り上げて行きますが、山口大学医学部の良き伝統



最後となりますが、今年度の医学祭を実施するにあたり多方面の方々にご協力していただいたことを、この場を借りてお礼申し上げます。今年度も昨年同様イベントブルゾンの作成に当たって地域のクリニック様にご支援いただきました。

医学祭を終えて

ダンパ パートリーダー

医学科 四年 戸坂泰平



また、一般の方や地域の中学校と高校に、作成したポスターの配布を行いました。私たちがまだまだ未熟であるがために、関係者各位の皆様にはご迷惑をおかけしてしまっただけです。しかし、この医学祭の成功は、ご支援いただいたクリニック様やポスターの配布を快く受けてくださった中学校や高校の多大なご協力の下にあると思います。本当にありがとうございました。

今年度ステージ企画の責任者を務めさせていただきました戸坂泰平です。この度は第79回山口大学医学祭にご来場いただき誠にありがとうございました。

今年度も先輩方や地域の皆様にご協力をお願いすることができ、山口大学の学生のみならず多くの皆様にご来場いただけたことを非常に嬉しく思います。

私が責任者を務めたお祭りダンパでは主にステージ企画を担当しました。約2ヶ月前からステージ企画の各パートが準備を進めステージ企画を作り上げて行きます。2、3、4年生の医学科、看護、検査の3つの学科が部活、学年、学科を問わずに医学祭を盛り上げるために知恵を出し合い、協力し、より良い医学祭を作ろうと尽力してまいりました。この医学祭の準備期間を通して培った関係性が、医学祭が終了した後にも引き継がれ、この期間で初めて知り合った異なる学年、学科の人たちが仲良く話をする様子や、食事に行く約束をしている様子が見られ、お祭りダンパの皆にとって非常に有意義な時間だったのではないかと感じています。勉強や部活で忙しい中、多くの人が医学祭



謝しています。

また、準備期間には多くの先輩方にご協力をいただきました。準備期間中の差し入れや、医学祭を成功させるための多くのアドバイスを頂き、感謝しています。

医学祭当日もステージの上や、ステージ下、舞台裏で多くの笑顔や、感動を目の当たりにすることができ、今年度の医学祭に関わることで、本当に良かったと感じています。

の準備に参加してくれて、各パートがステージ企画を作り上げてくれて、医学祭を盛り上げてくれて、お祭りダンパの皆には本当に感謝申し上げます。

医学祭

ダンパ 副パートリーダー

医学科 四年 藤井千聡



今年も医学祭が無事開催でき、多くの方々に足を運んで頂けたことを嬉しく思

います。お祭りダンパは主にステージ企画を担当します。約2か月前から当日まで、ダンパ全員でステージを作り上げていきます。ダンパは医学科、保健学科(看護、検査)の3つの学科で構成され、学年や部活

を問わず100名以上が所属しています。医学祭のメインとも言えるステージでは、医学祭が開催される2日間、ダンパのメンバーが企画から準備、リハーサルを重ねた様々な催しが開催されます。今年も、『前夜祭』から始まり、毎年全く新しい斬新な企画を行う『新企画』、男女ペアが学年を代表してエントリし、コントや特技を披露する『Miss & Mr. コンテスト』、1年生が様々な試練を乗り越えてトップを狙う『鉄人レース』、豪華賞品をかけた『ビンゴ大会』など、11ものステージ企画を行いました。約2か月間、学年や学科の垣根を超えてステージの準備に取り組みダンパの姿を副パートリーダーとして近くで見えてきました。メンバーはそれぞれ講義や実習、試験勉強と両立させながら、ダンパとしての自分の役割も一生懸命果たしてくれていたのです。当日は、一つ一つの企画が成功する度に感動しました。ステージの企画から最後の片付けまで、本当によく頑張ってくれました。そのおかげで、どの企画も大盛り上がりで、来場してくださった方々や学生の皆さんにもステージを楽しんでいただけたと思います。医学祭が終わってからもダンパを通じて出会った他学年、他学科のメンバー達とそれぞれ交流が続いていて、とても嬉しく思っています。また、準備期間中にはたくさん先輩方がお忙しい中差し入れに来てくださいました。医学祭を成功させてこられた先輩方から貴重なアドバイスを頂くことができ、とてもありがたかったです。



その他本当に多くの方々のおかげで医学祭を成功させることができました。最後に、ダンパのメンバーを始め、ステージの設営や運営にご協力頂いた全ての方々に心より感謝申し上げます。



クラブ紹介

山岳部

医学科 三年

浅井秀斗



医学部山岳部の令和6年度主将を務めさせていただいております。医学科3年の浅井秀斗と申します。私たちの「やまぶ」には現役部員36人、1〜6年の自然が好きな学生が所属しています。日頃の活動内容は、毎週土曜日に県内の大小様々な山を探して登り、下りてからは温泉に入るというものです。皆さんが持たれるイメージ通り100%アウトドアの部活です。8月には南アルプス(赤石山脈)の北岳を含む白峰三山を縦走する合宿を5泊6日の日程で挙行いたしました。前泊地の甲府まで行くのも一苦労、入山してからはテントや寝袋、食料を担いだひたすら頂上を目指して登り続けるという極限状態に追い込まれていき



ました。3000メートル級の高地は酸素も薄く、高山病のリスクとも隣り合わせでしたが、天気にも恵まれ、平地の喧騒からかけ離れた静寂に包まれながら見渡す限り続く山々、美しい稜線の眺望に心を奪われました。ここまで来ると山肌に森林限界がはっきりと見えるのも見応えがありました。富士山の次に高い北岳でご来光を拝んだ際の感動は忘れられません。

私たちは味わう「非日常」は山だけではありませ

最近是一段と肌寒くなり、秋山はとも登り甲斐がありません。皆さんも紅葉の季節は私の推しである寂地峡(岩国)に行かれてはいか

支部だより

北九州支部会

令和6年度の霜仁会北九州支部総会・懇親会を6月20日にアートホテル小倉ニータガワで開催しました。今回、大学からは泌尿器科学講座の白石晃司教授にお越し頂きました。また本部からは福田進太郎会長と組織対策委員長の矢賀健理事にお越し頂き、また山口大学経済学部、工学部の支部同窓会からも代表者計4名が出席されました。支部会員41名の出席があり、来賓を含め総勢48名でした。

開会に先立ち、1年間に逝去されました先生に黙祷を捧げた後、支部総会を開会しました。

総会では、1年間の活動報告、豊澤賢明先生による会計報告、平田晴夫先生による会計監査報告などの議題を終了しました。

来賓を代表して福田会長からは、会長挨拶とともに、霜仁会並びに山口大学医学部の現状を、鮮明な画像とともに紹介していただきました。

八〇〇字程度の原稿を写真添付の上ご投稿下さい。

お待ちしております。当日出席の支部会員は次のとおりです(敬称略)ご出席有難うございました。

報告、豊澤賢明先生による会計報告、平田晴夫先生による会計監査報告などの議題を終了しました。

会場の締めは飯田洋三前支部長の万歳三唱で閉宴となりました。その後は、有志でホテル内のバーで2次会となり福田会長、矢賀理事には多くの新情報を頂き楽しい時間を過ごさせていただきました。また令和7年も北九州支部総会ならびに懇親会を開催する予定です。

- 特別講演では、白石教授
- 01 栗栖弘明 (H01)、宮崎博章 (H01)、坂野
 - 02 久保善嗣 (H02)、中健
 - 03 進 浩和 (H03)、滋 (H02)、衛藤隆一 (H03)、
 - 04 山内雅文 (H03)、祐徳浩
 - 05 紀 (H03)、豊澤賢明 (H05)、吉本裕紀 (H05)、
 - 06 豊澤祐子 (H07)、益田勝
 - 07 敏 (H07)、近藤 香 (H08)、坪根 徹 (H09)、
 - 08 松田健二 (H09)、佐竹真
 - 09 明 (H11)、白井保之 (H14)、西嶋 淳 (H17)、
 - 10 小原尚利 (H18)、森 純
 - 11 一 (H23)、和田健一郎
 - 12 (R02)、立石圭人 (R04)

(写真は14ページに掲載)

クラス会報告

四七会

2024年11月3日、18時から、倉敷美観地区の老舗旅館「鶴形」にて、園尾博司、是澤俊輔、田野吉彦くんたちの幹事のもと、昭和47年度卒業生（47会）の同窓会が開催されました。

今回の出席者は、安達博信、小川健治夫妻、幾世橋篤、是澤俊輔、榊信廣夫妻、新谷清、神内仁、園尾博司、高橋睦夫、友澤尚文、中尾哲、羽藤史子（旧姓鈴木）、前川剛志夫



楽しいクラス会の様子を8〇〇字程度にまとめて写真添えてお送りください。

妻、松原宏夫妻の18名で現役であり、開業医や病院・施設の勤務者でした。令和7年3月までに同級生全員が喜寿を迎えることとなり、あと3年、80歳までは毎年47会を開催することとなりました。各自の近況報告では、なりゆき上健康に関することが最も多くなり、「これからも健康寿命で生活できるように皆さん気を付けましょう」が結論でした。

2次会は、アイビースクエアのパブリックバー「赤煉瓦」で1時間半ほど話し、再会を約束して散会しました。

次回の47会は安達博信君の幹事で、鳥根の玉造温泉で2025年11月23日（日）に開催される予定です。

（高橋睦夫）

四八会

48クラス会を令和6年9月15日道後温泉大和屋本店で行いました。なお、道後温泉でクラス会を開催すると決めて、コロナ禍のため

に5年が経ってしまいました。来年は9月14日（日）岡山で開催予定です。

（宮内文久）

阿部光仁…3年半前にS状結腸癌3b期で腹腔鏡手術を受け、今は元気で過ごしています。月1回の妻との旅行を楽しみに過ごしています。

小田悦郎…クラス代表として昨年物故者がでなかったのが喜ばしいことです。予讃線に乗ったことが無いので高松まで列車で移動して讃岐うどんを食して帰りま

す。加来浩平…日頃は弱みを見せることができない立場にあつて、クラス会は特別で何でも話ができます。3週間前に肺癌疑いと告げられた1日1日を大切に、依頼された仕事は断らないようにしています。

佐々木功典…6年前に院長職を辞し、現在は看護専門学校長をしています。今は「癌遺伝子は進化する」という考えに集中しています。腰痛で中止しているゴルフを再開しようかと考えています。

辻井武廣…開業して35年、老人ホームを5回運営していますが、経営は大変です。昨年4月に大洲城天守

閣に宿泊できるキャッスルステイを楽しみました。秀島道治…函館で開業して40年が経ちました。2年前に歩けなくなったものの家族の支えで1日100人の診察を今も続けています。

福田信二…昨年6月クリニックを譲り、フロンティア大学での講義と県医師会の生涯教育のアレンジが仕事です。テレビ観賞と買い物、国内外の旅行を楽しんでいます。

宮内文久…2年前に院長職を辞し、総合診療科医師として働いています。コロナ患者の受け入れ、AIなど新たな分野で頑張っています。

安井平造…「何もないのが一番」と考え、今年役職を全て返上しました。

山口康則…今年1月に家族が異変を察知し、無理やり診察を受けさせられ脳梗塞が発見されました。入院4日後に病院を脱出しました。100歳まで頑張るとの信念で今も診察を続けています。

山本眞一…開業して15年が経ち、経営も安定し日々診療に努めています。

渡邊哲夫…開業して42年が経ち、必要経費の上昇に悩んでいます。きちんと働け

ていることに幸せと有り難さを感じています。

渡辺徳武…定年退職を契機にさつさと医療の場を離れ、理学部数学科のオンライン講義を受けるのを楽しんでいます。量子論の手前まで進み、大学の数学の問題を解くところまで行きました。

9月15日山口市湯田温泉かめ福にて60卒の同窓会を行い、総勢30人が集まりました。参加者近況。大城研司…本業よりケニアマゴソクールを支える会やフードバンク山口そして孫。小野直司…色々あったが、変わらないのは学生時代から乗っているカワサキのナナハン。

六〇会

岸本修…自粛生活が終わり色々な所に顔出し、老害をまき散らし。岸本哲朗…コロナ禍でサッカー選手と審判にピリオド。在宅増えて嫁喜ぶ。古谷野妙子…開業歴22年、次女への継承を計画。趣味はダンスとスペイン語。佐世正勝…大学、県立病院の勤務医生活。大

学非常勤講師で今も5コマ講義。佐野由文…愛媛大学で呼吸器外科医としてあと半年、無事走り切りたい。

霜田茂…脳外↓老健親父、早15年。爺になり早5年。テニスゴルフ酒の日々。白澤宏幸…開業20年目。聴力低下し声音増大、腹囲も増大しジム参り。白藤雄五…緑内障でまともに見えるのは左眼正面だけ。勤務医仕事は可能。須田博喜…長門市の総合病院勤務。定年近くなり今後の人生設計思案中。竹村謙…お世話になった山口に、恩返しのために戻ってきました。中村旭男…3D vision system顕微鏡2022導入しHead up surgery。独立29年。仕事とEric Claptonの毎日。西村学…開業24年目で仕事モチボチ。趣味は愛犬とドライブ。最遠方は青森。本城和光…放射線科医、最新MRでPain2攻略法の確立目標、自宅に保護猫2匹。松岡明子…息子が医科歯科大の同級生と学生結婚し、仲良く働いています。松岡周二…順天堂免疫診断学講座で働いています。一体いつまで？72歳。松田和洋…ライフワークはマイコプラズマ感染症の早期診断治療。三輪茂之…5日前パリから帰国。娘がパラリンピック柔道で優勝メダル。桃野義博…休日はゴルフに登山、冬はスキーも。アウトドア

（写真は14ページに掲載）

満喫ナウ。森岡茂・卒後岡山・宇部・愛媛勤務今岡山中央病院腎内勤務、子2孫2。裕彰一・山大二外を2年前に退職、周南記念病院で手術とゴルフを堪能中。
(古谷野妙子)

H 11 会

令和6年10月13日にH11会を国際ホテル宇部で開催しました。気持ち良い秋晴れの日に50名が参加しました。高見太郎君が第一内科の教授に就任して初めての同窓会になるため、教授就任のお祝いも兼ねて開催しました。

冒頭に全員で起立し物故者に黙祷しました。そして黒川君によるはじめの挨拶、高見君による教授就任挨拶と続きます。高見君が挨拶する際には、会場全体が興奮を共有しているかのような大きな拍手が沸き起こりました。乾杯の音頭は期別代表の徳久君です。霜仁会費を払ってほしいと訴えた後に乾杯し、宴会が始まります。不思議なもので、久しぶりに再会した相手でも瞬時に当時の友情を共有できます。医学部の同期生はそれだけ強い絆で結ばれているのでしよう。壇上では

友人代表スピーチとして福田君と木藤君が、高見君とのエピソードを披露しました。教授就任の記念品を贈呈した後は、その場で指名された出席者が壇上で近況報告しました。県外からも多くの卒業生が参加したため、会場は熱気に包まれ大いに盛り上がりました。
H11会は5年前に始まり、今回は2回目の開催です。5年前は徳久君を中心にサッカー部OBが幹事を務め、今回は野球部OBが幹事を担当しました。時間をかけて出席者名簿と案内状を作成してくれた今城君、記念品をあれこれ考えてくれた神保君、QRコードによる写真共有など斬新な提案を実行してくれた前田君、3人には特にご尽力頂きました。最後に、同窓会に参加して頂いた皆さんに心より感謝申し上げます。お陰様で素晴らしい会になりました。5年後のH11会はラグビー部OBの得能君を中心に、高見君とも協力して開催する予定です。「令和11年に開催する平成H会」という得能君の鋭い指摘に期待が膨らみます。みんなで盛り上げていきましょう。(塩田直樹)

北九州支部会



H 11 会



四八会



編集後記

コロナ禍があけて約1年半、世の中の活動制限もほぼなくなり、医学祭や各地の支部会・クラス会も順調に開催されるようになってまいりました。お陰様で、今回の会報には、学生さんの楽しい活動報告や、多くの先生方からの近況報告とともに集合写真が掲載されています。厳しい寒暖差や激しい雷雨、この時期特有の呼吸器感染対策等で気が抜けない状況が続きますが、リスク管理をしっかりとっていただいで、日本の経済を活性化させるためにも、今後も支部会・クラス会を開催していただき、会報にご投稿ください。(奥屋 茂)

六〇会



訃報

- 久保田由美子先生(昭62年卒)
 - 令和6年8月24日逝去
 - 柏谷昌昭先生(昭55年卒)
 - 令和6年9月18日逝去
 - 中村克衛先生(昭29年卒)
 - 令和6年9月29日逝去
 - 澤田英明先生(昭53年卒)
 - 令和6年11月9日逝去
 - 荻野哲朗先生(昭50年卒)
 - 令和6年11月16日逝去
- ご冥福をお祈りいたします。